

ちよっこしい話

木 島 病 院 報

皆さんはじめまして!

秋号 Vol. 102

令和2年11月発行
発行：木島病院新聞委員会

医師 久門 弘



皆さん、はじめまして。この10月から木島病院のメンバーに加えていただくこととなりました、整形外科医の久門（ひさかど）と申します。

出身は兵庫県ですが、大学で金沢に来てはや27年が過ぎました。この北陸で人生の半分以上を生活していることになります。スポーツとの関係が深い木島病院ですが、自身のスポーツ活動についてはあまり自慢できるものではありません。学生時代は下手ながらに野球をしていましたが、肩が痛くなり、動体視力や反射神経の鈍ってしまった現在では、勢いよく飛んでくるボールではなく、もっぱら芝生の上に止まっているボールを打つのが専門です。ゴルフでも特に競技ゴルフにはまっており、恥ずかしながら、自分の息子と同世代の高校生や大学生たちと一緒に頑張って大会に参加しています。彼らに負けぬよう、まだまだ向上心を持って頑張ります。

余談はさておき、本題の整形外科のお話です。私は前任地である富山県済生会高岡病院に14年半勤務していましたが、そこで特に力を注いできたのは下肢の人工関節、なかでも人工股関節です。人工股関節は、変形性股関節症などの股関節疾患の患者さんにとって最後のよりどころとなりますが、術後の脱臼（関節が外れること）が大きな問題の一つです。それを防ぐために、一般的には、しゃがむ等の動作の制限を、やむを得ず患者さんに強いらなければなりません。そのような制限をなくしたいという思いから、12年前に北陸で先駆けて筋肉を切らずに行う新しい手術方法（最小侵襲手術）を導入しました。最小侵襲手術では、患者さんは手術直後から寝返りなどを制限なく自由に行うことができ、また術後回復も早いことから、従来法に比べて早期に仕事に復帰することも可能なので、患者さんの満足度も高く好評です。実際に、手術後1年を経過した患者さんのほとんどが手術を受けたことを忘れ、趣味やスポーツ活動をエンジョイされています。もし、股関節の痛みで満足な生活が送れず、ずっと悩んでいる方がおられるならば、是非、一度相談しに来てください。たった一度しかない人生です。ハッピーな人生を送るために、きっと木島病院のスタッフがお手伝いできると思いますよ。

第6回 木島病院学術発表会



座長を経験して

理学療法士 桂 紗世子

令和2年9月5日、第7回学術発表会が行われ、私は初めて座長を務めさせていただきました。それに際し、担当するセッションの発表者との意見交換を通して、各発表者がどのような工夫や努力を重ねて研究を進めてきたのか、普段自分が関わる事の少ない分野ではどのような業務や取り組みを行っているのかという事を、より詳しく知る事が出来ました。また、今までは発表会に参加することはあっても、より深く知ろうとする意識には欠けていたという事にも気づきました。

‘チーム医療’という言葉はよく耳にしますが、具体的に、各部署でどのような取り組みが行われ、それぞれの部署がどのように関わっているのかを知ることが出来たことで‘チーム木島’の一員として、多職種連携の重要性をより強く感じ、やりがいも感じました。今後も、患者さんの元気の為に少しでも自分の力が役に立てたらと思います。



看護師 竹内 芙由子

外来手術室の竹内芙由子です。学術発表会で「ジェルネイルのパルスオキシメーター測定値への影響」と題して発表させていただきました。皆さんご清聴ありがとうございました。皆さんご清聴ありがとうございました。このテーマのスタートはずいぶん前になります。ネイリストをしている姉×手術室看護師の妹(私)で「手術の時、ネイルダメなん?」「なんで?」「本当に測れんの?」などのやり取りがあり、「昔からの規則だから」「測れないかもしれないから」とは思いながらも素直に納得できなかった天邪鬼な私は「いつか実験してみたい!」と

思っていました。その後、木島病院で働きだした3年前に、看護理論や症例研究に縛られないこの会の存在を知り「木島病院ならチャンスをいただけるかも」と思い、皆さんに協力をいただけた事で今回の発表をする事が出来ました。おりしも新型コロナ肺炎で「緊急時の呼吸器の評価」といった側面からも注目されたテーマでもあり、看護師に限らず、多くの人にネイルアートについても知っていただく良い機会になりました。ご協力いただいた方々にこの場を借りて感謝申し上げます。



院内感染防止対策委員会

看護師 河奥美津江

木島病院の20以上の委員会の中から、患者さん・職員を感染から守る！活動をしている委員会を紹介したいと思います。

▶ 委員会について

各部署から選出された多職種にわたる18名のメンバーから構成しています。院内での感染の発生防止について検討する委員会です。活動内容は、月1回の委員会の開催で各部署から様々な報告がなされます。例えば、感染症発生状況や、手指消毒の使用状況、抗菌薬使用状況など報告があります。院内を巡視して感染防止に努め、職員の感染に対する知識・技術向上のために研修会を開催しています。下部組織に感染対策チーム（ICT）を設置し大学病院含む関連病院とのカンファレンスにも参加しています。



▶ サーモグラフィーカメラ体温測定器を導入しました！

これまで、非接触型体温計で測定していましたが、この度、正面玄関にサーモグラフィーカメラを設置させていただきました。手指消毒後、カメラの前を通過していただき発熱がなければ院内に入っていただけます。風邪症状があるかたは、来院前に電話等にてご相談ください。



▶ コロナウイルスとインフルエンザウイルス

今年の冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行する可能性が危惧されています。高熱が続くけどもしかしてコロナに感染したかも・・・といった不安な気持ちを抱くことになるかもしれません。そこで、インフルエンザ予防接種を受けて少しでも心配ごとを減らせるといいですね。ご存じのように、インフルエンザには有効なワクチンが存在し重症化を事前に予防することが出来ます。接種時期は、12月中旬までをお勧めします。



県のウエイトリフティング記録会に出場しました!

木島病院所属ウエイトリフティング選手 中島 一馨

新型コロナウイルスの影響で、予定していた試合がことごとく延期や中止となり、鍛えたものを発揮する場のない、トンネルの中に入ったような状況が半年以上続きました。

先日の10月10日、待ちに待った県の記録会があり、社会人として初めて木島病院のユニフォームを着て試合の雰囲気味わう事が出来ました。

今回はしばらく試合から遠ざかっていたため、記録は追わず試合感覚を掴むこと、12月に予定されている全日本選手権大会でスタートとなる重量を2本目に触ることを設定、久々の「試合」に臨みました。

結果は大いに手応えのあるもので、しっかりまとめられたと思います。次の全日本では記録的にも自分の満足のいく結果を出したいと思います。

日頃から木島病院の方々や患者さんからも温かい言葉をかけて頂き心から感謝しています。

今後もしっかり結果でお返しできるように頑張ります。まだまだ未熟な私ですが今後ともよろしくお願いします。



秋の味覚!!

管理栄養士 山崎 杏奈



秋も深まり、肌寒い季節になってきました。秋といえば食欲の秋!

当院では食事で季節を楽しんでもらえるよう、栗ご飯、きのこご飯、そしてむかごご飯など秋の味覚を取り入れています。皆様「むかご」はご存じでしょうか? 山芋の葉の付け根にできる球芽で、山芋の赤ちゃんのような食材です。むかごには、成長ホルモンの分泌を促し、免疫力を高めるといわれている「アルギニン」や、新陳代謝や細胞の増殖機能を促進する作用のある粘り成分

などが含まれています。小さくてコロコロして、あまり家庭になじみがない食材かもしれませんが、栄養豊富な秋の味覚の1つです。

むかごの皮は、加熱するとやわらかく、皮つきのまま食べても問題ありません。

ご家庭でむかごを食べられる場合、お米を通常通りといで、水洗いしたむかごと料理酒、お塩を加えて炊飯器のスタートボタンを押せば簡単にむかごご飯の完成です。スーパー等で見かけたら、ぜひ手にとってみて下さい♪



新DR、CR 導入

診療放射線技師 村井 咲子

令和2年8月に新しいDR(Digital radiography)、CR(Computed radiography)が導入されました。DRやCRはX線撮影における照射されたX線を画像化する画像入力機器のことで、DRはX線による蛍光をその場で読み無線で画像表示し、CRはカセット(撮影する板)に撮影し読取機でスキャンし画像表示させます。

新DR、CR導入により、以前よりも少ない線量で撮影ができるようになり、画像の処理速度が速くなりました。また今回はノートパソコン型のコンソールも導入され持ち運びが可能となりました。これまでは病棟や手術室でのポータブル撮影の際、CRで撮影したカセットを1階のエックス線操作室まで持っていき読取機にスキャンしないと画像を確認することができませんでした。複数の撮影がある場合は撮影ごとにカセットを替える必要もありました。現在では病棟や手術室での撮影はほぼDRで行っており、撮影後その場ですぐに画像を確認できるようになり、時間短縮や負担軽減につながっています。



介護センターだより

「秋のアレンジメント」

介護福祉士 山田 貴子

きじま在宅介護センターの通所リハビリテーションでは、作業療法のレクリエーションとして、折り紙を使い季節ごとに利用者の皆さんで壁面作りをしています。

今回は、コスモスとトンボの壁面を作りました。皆さん得意な所を手分けしてコツコツと教え合いながら楽しく作業されていました。

出来上がった壁面を見て「キレイに出来たね」や「あのトンボは私が作ったんやよ」と利用者の皆さんの会話も弾んでいます。

一緒に作ったコスモスのリースも外来の待合室に飾ってあります。ぜひご覧ください。



きじま在宅介護センターの

職員リレー紹介

柔道整復師 木村 光喜さん
きむら こうき



私事ではありますが、この度結婚することになりました。お相手の方は、当院のスポーツリハビリ木島で働いている遠藤さんです。出会いのきっかけは職場の部活動でした。お互いバドミントン部に所属しており、仕事後、当院の体育館にて不定期ではありますが活動していました。次第に仲良くさせて頂き、私の一方通行の“想い”が実りました。コロナ禍ではありますが、今年の9月26日、規模を縮小して結婚式を挙げさせていただきました。担当のウエディングプランナーの方は、コロナの為に結婚式を何度も延期にしたり、それでも、お互いの譲れない“想い”もあり、難しい状況ではありましたが、それでも私達を見放さず、私たち

の立場になって親身に相談に乗ってくださいました。

私も担当のウエディングプランナーの方のように仕事でも、今回の結婚式のように、患者様の立場になって親身に相談に乗れる“リハビリプランナー”として、患者様ひとりひとりの“想い”に応えられるよう日々精進していきたいです。



接骨院紹介

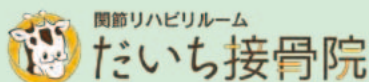
関節リハビリルーム だいち接骨院

院長 岩淵 大地

今年の3月に木島病院を退職し、4月から小松市の方で独立開業する運びとなりました。当院に来てもらった方の『カラダ』も『ココロ』もトータルケアが出来るように日々努めております。

当院のロゴは「キリン」で、これは僕をイメージして作ったのもありますが、キリンのように優しく、そして視野を広くもち治療を行うといった意味も込めております。

新型コロナウイルスで大変な状況ではありますが、明るく元気良く！希望を与えられるような接骨院を目指していきます！小松市に来られる事がございましたらぜひ当院に遊びに来てください。



	日	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	休	○	○	○	○	○	9:00 13:00
13:30~19:30	休	○	○	○	○	○	休

休診日／日曜・祝日

住 所／〒923-0004 小松市長崎町2丁目124番地

TEL／0761-27-5777

【予約制】

URL／<https://komatsu-daichi-jp.com/>



ホームページ用

LINE用



編集後記

秋も過ぎ、はや冬がやってまいりました。寒い時には我慢するだけでなく、少し体を動かすと暖かくなりますよ！汗をかいたらしっかり拭き、体調に気を付けながら健康に今年の冬も過ごしてくださいね。次回ちょっといい話 新年号もお楽しみに。

(新聞委員一同)

木 島 病 院

TEL (076) 237-9200

FAX (076) 237-9202

きじま在宅介護センター

TEL (076) 237-7111

FAX (076) 237-1199

健康増進施設

スポーツリハビリ きじま

TEL (076) 237-9200

FAX (076) 237-9202

〒920-0011 金沢市松寺町子41番地1

病院ホームページアドレス

<http://www.kijima-hp.or.jp/>